

あかね恋

安来市立病院



広江沙里



野島晴美

町立奥出雲病院



山根正樹



種村捺美



安部亮介

雲南市立病院



安原久美子



坂本遙香



発行／公益社団法人島根県看護協会

発行責任者／春日 順子 編集／広報委員会

2012.7.30

CONTENTS

- ◆島根県看護協会の主な動き・・・P1
- ◆理事会報告・・・P1
- ◆各種表彰受賞者・・・P2
- ◆平成24年度新役員紹介・・・P2
- ◆平成24年度通常総会報告・・・P3
- ◆特別講演
「災害時における看護-東日本大震災から考えること-」・・・P4
- ◆職能委員会活動・・・P5
- ◆支部活動・・・P5
- ◆委員会活動・・・P6
- ◆ナースセンターだより・・・P7
- ◆看護の心をみんなの心に・・・P8

No.131

湧水

輝いて！新人ナースたち

公益社団法人島根県看護協会 会長 春日 順子

“看護の新たな時代の幕開け”とされる「保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」が、平成21年7月可決され、新人看護職員の卒後臨床研修の努力義務化が謳われました。その背景には、医療の高度化や在院日数の短縮化、医療安全に対する意識の高まりなどの国民のニーズの変化があり、臨床で求められる臨床実践能力と看護基礎教育で修得する看護実践能力との間には乖離が生じていることがあります。

2011年日本看護協会の調査で、新卒看護職員離職率は、

8.1%(前年度比0.5ポイント減)と3年連続で減少しています。看護基礎教育では、臨地実習で看護技術を経験する機会が限られる傾向にあり、新人の中には、就職後、リアリティショックによって早期に離職する人もいます。

協会は、島根県から委託を受け、平成22年から新人の職場への定着、医療安全の確保、看護の質の向上に資することを願って多施設合同研修等実施しています。ある新人看護師の声に、うまくなったね、ありがとう、あなたの笑顔に励まされるよ、など患者さんからいただいた言葉はとても嬉しかったとありました。IPS細胞を発見された京都大学の山中伸弥教授が、「1回の成功の裏には9回の失敗がある」と言われた言葉が印象に残っています。生涯学習をとおし、輝ける看護職になっていただきたい。

島根県看護協会の主な動き(5月～7月)

項目	月 日(曜)	実施事項	出席者	場 所
島根県関係事業	5月17日(木)	第1回島根県がん対策推進協議会	栗原副会長	出雲合同庁舎
	5月24日(木)	島根県経口摂取支援協議会	福岡理事	歯科医師会館
	5月29日(火)	島根県精神保健福祉協議会	春日会長	いきいきプラザ
	5月30日(水)	介護職員の行う医療的ケア関係業務に関する検討委員会	春日会長	島根県民会館
	5月31日(木)	島根県小児保健協会理事会	春日会長	ホテル穴道湖
	6月 1日(金)	島根県人権施策推進協議会	春日会長	サンラポーむらくも
	7月 5日(木)	島根県福祉・介護人材確保対策ネットワーク会議	三代理事	県民会館
日本看護協会事業	5月 9日(水)	日本看護協会理事会(5/9・6/6)	春日会長	JNAホール
	5月18日(金)	日本看護協会総会代議員・予備代議員研修会	井伊理事・代議員他	看護研修センター
	5月21日(月)	WLB地域推進連絡協議会	春日会長・川合事業局長	JNAホール
	6月 5日(火)	日本看護協会通常総会・職能別交流集会(6月5～7日)	春日会長・代議員他	幕張メッセ
	7月12日(木)	拡大医療安全推進会議	三代理事・野津委員	JNAホール
島根県看護協会事業	7月26日(木)	日本看護協会理事会	春日会長	JNAホール
	5月 1日(火)	常務理事会	春日会長他	看護研修センター
	5月 2日(水)	理事会:第1回(5/2)第2回(6/2)第3回(6/23)	春日会長他	看護研修センター
	5月12日(土)	「看護の日」記念のつどい(出席者408名)	春日会長他	くにびきメッセ
	5月22日(火)	訪問看護師養成講習会開講(受講生24人)	春日会長他	看護研修センター別館
	5月22日(火)	監査会	春日会長・監事他	看護研修センター
	5月24日(木)	常務理事会及び通常総会議長団打ち合わせ	春日会長・議長団他	看護研修センター
	5月25日(金)	セカンドレベル開講式(受講生24人)	春日会長他	看護研修センター別館
	5月26日(土)	国際助産師の日のつどい	渋川委員長他	雲南市立病院
	6月 2日(土)	島根県看護協会通常総会	春日会長他	ビッグハート出雲
	6月 9日(土)	支部総会6/9松江・雲南・浜田6/16出雲6/17益田6/30大田・隠岐	春日会長他	各支部
	6月20日(水)	医療安全管理者養成講習会(受講生28名)	春日会長他	看護研修センター別館
	6月23日(土)	合同委員会	春日会長他	看護研修センター

理事会報告

◆第2回理事会 6月2日開催

【協議事項】

- 代表理事(会長)の選定の件
 - 代表理事以外の理事の選定の件
 - 事務局長の選任及び解任の件
- 以上承認された

【報告事項】

平成24年度7月1日以降の事務局体制について

◆第3回理事会 6月23日開催

【協議事項】

- 会長代行時理事会招集の順序について 承認
- 島根県看護協会活動方針について 承認
- 委員会担当理事の役割及び運営について 承認
- 研修会必携について 承認
- 合同委員会の運営と委員会活動計画 承認

【報告事項】

- 看護協会の動き

平成24年度会員の
手続きはお済ですか？

新規入会も
お待ちしております！

会員委員会

入会手続き 所属施設を通じて継続申請書・新規申請書をお届けしています。

申請書について

印字内容に変更がある場合は、必ず「変更あり」に○をつけ、該当箇所の下部に訂正内容を楷書でご記入ください。また、「本人控」は必ず切り離してお手元に保管してください。会員証が届くまでの間、会員であることの証明になります。

確認事項

取得されている職種の特許番号をすべて正確にご記入ください。また、印字されている番号が正しいかも確認ください。

各種表彰受賞者(敬称略)

平成23年秋の叙勲受章

瑞宝単光章 高木 教子
瑞宝単光章 河上登紀子

平成24年春の叙勲受章

旭日双光章 住田 佳子

平成24年度日本看護協会会長表彰

栗原由美子

平成24年度島根県看護協会名誉会員賞

若月 恭子

平成24年度島根県看護協会会長表彰

飯塚 文子	家中ふみ代	宇山 真弓	大岡恵利子	小笠原みす枝
笠岡千代子	角橋ヤス子	小松原京子	曾田美佐子	高田小百合
田村 弘子	名原 千穂	浜崎千恵子	松浦 幸子	湯浅 幸子



平成 24 年度新役員紹介 よろしくお願ひします



助産師職能委員長
県立中央病院
吾郷 美晴

この度、助産師職能委員長という大役をお引き受けすることになりました。平成24年度、日本看護協会の重点事業である「助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備」に向けて、新人助産師研修・キャリアアップ研修により助産師卒業教育支援の充実をはかっています。また、県内の施設助産師が自立して働くための課題を追求し、改善がはかれるよう努力してまいりたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い致します。



大田支部理事
大田市立病院
今田 眞美

本年度より大田支部支部長の役を頂きました今田眞美です。今までは一会員として島根県看護協会に参加してきましたが今回支部理事というはじめての理事という役の重みを感じております。その役割を果たすことができるように一生懸命やっています。また大田支部として地域の皆様方にも看護協会を少しでも知ってもらえるような活動を行っていきたくと思います。支部会員の皆様方にはご指導ご協力をよろしくお願い致します。



雲南支部長理事
町立奥出雲病院
長谷川千代美

この度、雲南支部長を仰せつかりました。支部の代表として皆様の声を届けること、また地域の方々にも貢献出来る活動をめざし、微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと思ひます。協会では教育事業担当理事として委員の皆様方との交流やスキルアップができるように努めます。どうぞよろしくお願い致します。



浜田支部長理事
江津済生会総合病院
谷口眞理子

協会員歴30年を数え、思いがけず、支部長という重責をお引き受けすることとなりました。昨年看護協会では、東日本大震災、協会の公益法人化など問題を数々乗り越えて来られました。一人の力は微力ですが協力して当たられば大きな力になることを証明できた一年でした。支部活動は、まさに小さな力を出し合う看護協会の基礎となる活動です。コツコツと更に活動を積み上げていきたく思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

平成24年度 通常総会報告

スローガン 安全・安心な医療をめざして 看護職が働き続けられる環境を作ろう！

6月2日、出雲市のビッグハート出雲で出席者266名、委任状4,094名にて平成24年度通常総会は盛大に開催された。開会あいさつとして春日会長から、「公益社団法人 島根県看護協会」として設立登記が完了し新たな一歩をスタートしたこと、そして公益社団法人に移行して初めての通常総会を開催することへの意気込みが伝わり、平成24年度の重点事業並びに事業計画について7点のことが挙げられた。

続いて、来賓の島根県知事(島根県健康福祉部次長 田部宏治氏 代読)、出雲市長(出雲市副市長 黒目俊策氏 代読)、松浦昌代島根県看護連盟会長より祝辞を受けた。

総会では、公益社団法人島根県看護協会総会運営規則、名誉会員の推薦、平成24年度スローガンなど、第一号議案から第五号議案まで、賛成多数で承認された。



平成24年度重点事業

1. 労働条件・労働環境の改善
2. 安全で効果的な医療提供体制に向けた看護職の業務範囲の見直し・拡大
3. 長期的な在宅療養を支える訪問看護の推進と介護領域における看護機能の強化
4. 看護基礎教育及び保健師・助産師の基礎教育の充実
5. 看護職の卒後臨床研修制度の推進
6. 効果的な保健師活動推進のための活動基盤強化
7. 助産師による安全で安心な出産体制づくりの推進



提出議題

- | | |
|-------|------------------------|
| 第一号議案 | 公益社団法人島根県看護協会総会運営規則(案) |
| 第二号議案 | 名誉会員の推薦(案) |
| 第三号議案 | 平成24年度スローガン(案) |
| 第四号議案 | 平成24年度役員、推薦委員の選任(案) |
| 第五号議案 | 平成23年度決算報告(案)及び監査報告 |

* 採決の結果、第一号議案から第五号議案まで賛成多数で可決
選挙 平成25年度日本看護協会通常総会の代議員・予備代議員の選挙(案)

* 開票の結果代議員・予備代議員全員は当選



特別講演 「災害時における看護 —東日本大震災から考えること—」

NPO法人 阪神高齢者・障がい者支援ネットワーク
理事長 黒田裕子先生

黒田先生は阪神淡路大震災・東日本大震災の2つの震災を経験されている。現在も東北被災地にて住民に寄り添いながら支援活動を続けられている。特別講演では、震災発生時に「看護師としてしなければいけないこと、看護師としてできること」の具体策や「人間・地域・くらしの一体化の重要性」や看護の再構築について、貴重な体験に基づいた講演でした。講演内容の抜粋を掲載しています。「災害時における看護」について考える機会としていただきたい。

(広報担当理事)



災害時『適切に判断し行動』できるために

体験からの見直しと取り組み

1. 防災においての組織体制はできているか。
2. 大規模災害対策の規定は見直しをされているか。
 - ・大規模災害時の各部署の役割の明確化
 - ・災害対策本部機能の明確化
3. 防災訓練の見直しはされているか。
 - ・防災用具の見直し
 - ・本部機能の訓練
4. 看護部の防災マニュアルはできているか。見直しをしているか。
 - ・地震災害時の対応
 - ・地震発生時の人工呼吸器装着患者緊急時の対応
 - ・透析中の安全確保
 - ・手術中の安全確保

マニュアルに沿った防災訓練がされているか

防災訓練＊避難訓練

- ＊職員非常時連絡網による招集訓練
- ＊トリアージ訓練
- ＊災害対策本部設置訓練
- ＊多数の患者の受け入れ訓練
- ＊院内の被災情報についての情報収集と伝達訓練
- ＊消火訓練

『訓練の目的を明確にマニュアルを基に時間帯や季節等施設の特長を入れた訓練』

看護管理者に必要なこと

平時の準備

- ＊病院全体の災害時対応計画を整備
入院患者の避難、大量傷病者の受け入れ計画
衛生資器材の確保 看護体制 等
- ＊看護師の教育・訓練
看護技術の錬磨、災害対応訓練

災害発生時

- ＊現場を見て適切な材料を下す。
- ＊支援人員、物資の適切な配分を行う。
- ＊看護師達のメンタルヘルスケアを忘れない。

看護師に必要なこと

- 的確な状況判断ができる。
 - 変化に臨機応変、柔軟に対応できる。
 - リーダーシップが発揮できる。
 - 困難に立ち向かう強い意思を持っている。
- 平時の看護のなかで育成される



職能委員会活動

看護師職能委員会活動について

看護師職能委員長
津島 照美(松江赤十字病院)

これまで特定看護師(仮称)として議論されてきた内容が「看護師特定能力認証制度」として、特定行為、特定行為の実施、厚生労働大臣の認証などの内容を保健師助産師看護師法の改正で規定する案が検討されています。1月の病院領域(I領域)の職能集会では日本看護協会会長の坂本すが氏を迎え、こうした状況に関するお話を聞く予定です。併せて県内の専門看護師、認定看護師の業務や活用についての現状や課題を話し合い、看護師の業務拡大と専門性について考える機会にしたいと思います。多数の会員の参加をおまちしています。

また、昨年実施した看護師の実態調査の報告書を作成し配布する予定です。その結果も踏まえ、引き続き看護師が抱える課題に取り組んでいきたい。

今年度は新たに、介護・福祉関係施設・在宅領域(II領域)の看護職の交流をはかるための職能集会を8月5日に行います。

昨年実施した県内の特別養護老人ホームと老人保健施設で働く看護職の実態調査の結果や日本看護協会看護師職能委員会II領域の活動等を報告します。島根県看護協会長による看護の動向、最新の看護ケアに関する情報提供として脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の講義も予定しています。非会員の方々の参加も歓迎し、一緒に話し合い、課題を明らかにすると共に、ネットワークづくりに繋がりたいと思います。

例年行っている准看護師の「看護師2年課程への進学支援の研修会」を11月に出雲市で開催します。また、現在の研修は効果があるのか、どのような支援が必要なのか、研修受講生対象の調査も考えています。

島根県看護師職能委員会は、I領域とII領域を併せた活動を行っています。幅広く看護師の抱える課題について検討していくので、皆さまのご意見をお寄せください。

支部活動

平成24年度 益田支部活動について

益田支部長 村上三恵子

私たちの益田支部は、県西部に位置し、県の面積の5分の1を占める広範囲な地域です。会員は497名で、研修会やイベント型の「まちの保健室」の開催などが主な活動内容です。

昨年の研修会は会員間の交流と心と体のリフレッシュを目的にヨガ・ピラティスの実技や、会員の糖尿病認定看護師による「爪のケア」について研修会を行いました。今年度は私達看護職自身の健康を主体に「フットケア」や「スキンケア(看護師にふさわしいメイクアップ教室)」を行う予定です。

また、今年度の「まちの保健室」事業は公益社団法人となったことを受けて、できるだけ多くの圏域住民の方々とのふれあいを目的に、益田市の健康フェスティバルや津和野町、吉賀町の地域のイベントに参加することとしています。

松江・出雲での研修へもなかなか参加し難い状況はありますが、地域の方々の幸せに貢献できる看護職であることに誇りを持ちながら、会員間の交流を行い、会員同士が互いに声を掛け合い、元気でいきいきと働き続けられるよう、役員が一丸となって支部活動の充実にむけ頑張っています。



委員会活動

会員のキャリアアップを支援します

教育事業委員長
田中由美子(松江赤十字病院)

平成24年度教育事業委員会は次の3項目について取り組み、会員のキャリアアップに役立つような研修企画をして、多数の皆様に参加をしてもらいたい。すでに個別配布した「平成24年度教育計画」に是非目を通して下さい。

1. 平成24年度リフレッシュ教育の要項内容検討・実施・評価
 - ・20コース(延べ27日)の研修と4コース(延べ8日)の衛星通信研修を実施・評価する。
 - ・今年度「糖尿病患者へのセルフケア」「高齢者の理解と看護」「看護職場の労働衛生管理」「雇用の質を高める職場づくり」の4コースを新たに企画しました。

2. 平成25年度リフレッシュ教育の企画
 - ・H22～23年度のニーズ調査、及びH21・22年度に実施した研修受講生への追跡調査、各研修会後のアンケート結果を踏まえ、研修内容を検討します。
 - ・西部地区・隠岐地区の学習機会の提供については、昨年度に引き続き、参加しやすい研修のあり方について検討します。
3. 研修会の広報について引き続き検討し、広報活動をしていく。
 - ・今年度新企画の研修4コースと、昨年とは内容・受講対象が変更になった研修2コース、衛星通信対応研修について広報活動をする。

働き続けられる職場づくりをめざして

社会経済福祉委員長
永田 節子(島根大学医学部附属病院)

昨年度は看護職のワーク・ライフ・バランス推進フォローアップワークショップで5施設から取り組みを報告してもらい、パネルディスカッションを行いました。各施設が抱える問題を強みに変える取り組み、職員が大切にされていると思える職場づくりの報告を聞き、職場の現状を考える機会となりました。

今年度の研修会は、高齢化社会の中で「看護職の定着、再就業、職場環境を整える仕組み作り」などをテーマに講師依頼、グループワークの内容を検討している。新人や子育て世代へのワーク・ライフ・バランスにつ

いては、取り組みが行なわれ離職率の低下に繋がっています。今後も、継続して生き生きとやりがいを持って働き続けられる職場環境を職員一人一人が見直し、業務改善や環境改善に向けて取り組むことが必要です。また、退職した看護職への働く場所の提供や再就業へのシステム作りも超高齢化社会の島根県には必要ではないかと思う。今年度もインターネット配信研修が企画されています。11月29日(木)9時30分～16時30分「働き続けられる職場づくり～看護労働のシフトワークの改善～」会員の皆様是非ご参加ください。

災害支援ナース登録者募集中！ 災害看護研修の受講をお待ちしています！

災害看護委員会・担当理事

昨年3月に発生した東日本大震災では、多くの災害支援ナースが活躍し、島根県看護協会からも災害支援ナースとして1名派遣しました。今年度も、災害看護研修「基礎編」「実務編」を開催します。一人でも多くの会員の災害支援ナース会員登録がして頂けるような活動に努めます。災害支援ナースの登録手順はつぎのとおりです。

- ① 災害看護研修会
 - 基礎編：平成24年11月8日・9日
 - 実務編：平成24年10月3日・4日
- ② 災害支援ナース会員登録届の記入(協会ホームページからダウンロード)
- ③ 施設看護管理者を通して災害支援ナース会員登録届を協会に提出



看護職が働きやすい職場づくりが県内に広がるよう応援します！

<働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業>

平成23年度より本事業を開始し、平成25年度までの3年間、ワークショップに参加する施設を毎年5施設程度募り事業を推進する計画である。平成24年度には3支部6施設が加わり合わせて5支部11施設が継続的にWLBの実現に取り組んで行く。

島根県看護協会は、本事業を通して、看護職のWLB推進に取り組む看護管理者と連携し、「看護職のWLBインデックス調査の実施、ワークショップの開催(8月1日・2日看護研修センター)」等WLB推進の支援を行います。



平成24年度訪問看護師養成講習会

5月から看護研修センター別館で開講中の訪問看護師養成講習会は、訪問看護に必要な基本的知識・技術を修得するための講義と施設実習に取り組み、総時間180時間(10単位)が必要です。今年度は受講生24名で、昨年の2倍の参加がありました。受講生の就業状況は未就業4名、病院勤務9名、訪問看護ステーション勤務11名です。地域別によると松江15名、雲南1名、出雲3名、大田4名、益田1名で松江からの参加が多い。講習会前半が終了した時期ですが、受講生の訪問看護をめざす思いを紹介します。

訪問看護で頑張ります！

津和野共存病院 徳政好枝

私は臨床経験が少なく、10年間のブランクがあり、看護職復帰を諦めていた。しかし、我が町の深刻な過疎化、少子高齢化、医療現場の機器などの現状を知り、通所施設で2年間勤務した。その中で高齢者や様々な疾病を持つ方々は、死に対する不安、体力低下や体調不良に対する不安が強いが、家族や家庭、または住み慣れた場所は、精神的安定をもたらすことを感じた。

そこで、在宅生活を支える訪問看護に興味を持ち、看護の基礎から学び直したいと思い病院勤務に復帰した。そして、5か月間訪問看護を実践して様々な利用者の方の現状に携わり、家庭のなかで一人の人間として支えられていること、また、その人らしく生活していることを感じた。今後、訪問看護の知識や技術を習得することで、年齢、疾病、状態を問わず、様々な対象者に質の高い看護が提供したいと思い今回の受講を希望しました。

訪問看護師を目指します！

訪問看護ステーションすずらん 赤井桃子

離職して約3年、昨年の秋に「もう一度看護師として頑張ってみようかな」と思いハローワークへ出かけたところ、偶然にもナースセンターの「看護お仕事相談会」があり、そこで相談員さんとの出会いがあり、その後、継続的な相談にのって貰うことができた。今年に入って、訪問看護の仕事について紹介して頂いた。それまでは訪問看護については全く考えてもいなかったが、話を伺うことで病院勤務とはまた異なる魅力を感じる事ができた。訪問看護ステーションの施設見学に出かけ、看護管理者さん、事務長さんからのエールを貰うことで就職を決めた。

看護経験も少なくブランクもあり、不安はあったが、早速今回の受講をさせて頂き、知識や技術の足りない部分を補うことができ本当に感謝しています。講習会はグループワークもあり、受講生のみなさんの経験談や考えを聴くことで私自身とても良い刺激を受けている。また、訪問看護師を目指している方がこんなにも多くいることがわかり、心強く感じている。講習会後半に向かい、受講生のみなさんとの交流を深めながら一緒に頑張っていきたい。

看護の心をみんなの心に

看護の日記念のつどい

「看護の日」記念のつどいを5月12日(土)に松江市の「くにびきメッセ」で開催し408名の来場者がありました。11:00からまちの保健室、訪問看護・在宅療養相談、妊婦体験コーナー、白衣体験、認定看護師・専門看護師の活動報告、看護進学相談と賑やかな交流の場となり有意義なひとときとなりました。

オープニングでは新人看護職員のリレートーク～忘れられない看護エピソード～と題して、3名の新人看護職のみなさんにリレートークをしてもらい来場者からも好評でした。



3名の新人看護職のみなさん



益田赤十字病院
助産師
芳尾佳寿美さん



松江医療センター
看護師
今村彩夏さん



島根大学医学部附属病院
看護師
松崎志津さん



特別講演は、しまね海洋館アクアス海獣係主任獣医師である三島有紀氏から、「アクアス裏話～命の重さを感じながら」のテーマで、日頃の愛情あふれる関わりを紹介していただき、改めて命の大切さを実感できる機会となりました。



皆様に幸あれ！

みなさま
ぜひ、命の輝きを感じに、
「しまね海洋館 アクアス」
へお越しください
お待ちしております
ご静聴ありがとうございました。

PRバス全国キャラバンが来県しました！

日本看護協会は看護週間に東日本ルート、西日本ルートに分けて2台のバスが全国キャラバンを実施しました。5月8日午後6時過ぎに島根県看護協会に到着した時の様子です。

バスの窓枠に設置したTVディスプレイで、看護の日のPRや看護職に関連する画像などを放映してPRができます。島根県庁付近を走り次の目的地の鳥取市に出発されました。



島根県看護協会スタッフ



歓迎のメッセージ

ホットひといき

看護部長と一緒に 隠岐水産高校に出かけました！

隠岐広域連合隠岐病院 新人看護師 **金阪未来・真野文香**

今回、進学ガイダンスに参加し、新人看護師の立場で看護師を目指そうとしている高校生に、少しでも看護のイメージが湧くような看護学生時代の生活や勉強のアドバイスなどを話しました。また、看護師になって責任の重大さや、継続教育も必要であることなど仕事の厳しさや、日々の努力が患者様の笑顔や元気になっていく姿につながっていくこと等の仕事のやりがいについても話しました。

今回の進学ガイダンスに参加することで、「自分がなぜ看護師という道を選んだのか」を再度考える機会を貰ったように思います。看護師として働いていることに喜びを感じると共に、やりがいのある仕事だと確信を持つことが出来ました。そして看護の仕事を考える後輩たちに、「看護師を目指そう！」と思って貰えるようなお手本になりたいと思った。先輩看護師からの指導を受けて、質の高い看護が提供できる看護師になれるように日々努力をしていきたい。



INFORMATION インフォメーション

第43回日本看護学会—小児看護—学術集会

9月13日(木)・14日(金) 島根県民会館
8月23日まで参加予約受付中
学術集会テーマ「すべての子どもが笑顔でいるために
～今、私たちにできる看護実践～」

特別講演 「子どもの痛みケア」
兵庫県立大学看護学部長 片田範子氏
教育講演 9月14日 10:30～12:00
(一般公開) 「眠りが育てる子どもの脳と体」
東京ベイ・浦安市川医療センター長 神山潤氏

教育研修 緩和ケアアドバイザー養成研修(公開講座)

9月7日～8日の2日間 看護研修センター
・緩和ケアの実際・疼痛のマネジメント
・放射線治療を受ける患者・家族への支援

資格認定教育 認定看護管理者制度ファーストレベル教育

研修期間 平成24年10月～12月 26日間
研修会場 島根県看護研修センター他
定員 50名
申込期間 平成24年8月1日～8月17日(消印有効)
申込先 公益社団法人島根県看護協会
認定看護管理者ファーストレベル担当者宛

全国看護セミナー

11月10日(土)・11日(日) くにびきメッセ
「NBN看護現場でナラティブな視点を活かすために」
講師 石垣靖子氏(北海道医療大学大学院看護福祉学研究科教授他)
申込先 「日本看護協会出版会」

支部別・職員別会員数(合計) (平成24年7月6日現在)



合計
保265・助214・看4,602・准246
計5,327

編集 後記

今年も暑い夏になると予想されています。ご家庭、お出掛け先などでは節電対策もされていることでしょうか、体調にはくれぐれも気を付けてこの夏を乗り切りましょう。

